

平成25年度 燕市西蒲原郡道徳部 活動報告

部長 鱒 博文

1 研究主題

道徳的実践力を育てる指導法の工夫

2 研究の概要

外部講師を招いて指導を受けるとともに、研究主題を受けた授業公開・検討を行った。



3 研究の実際

(1) 第1回部会

① 期日：6月5日（水） 吉田南小学校

② 内容：講義と演習 講師 県立教育センター指導主事 佐藤 裕 様

○講義

学校教育の重点事項や道徳における言語活動の充実に関わって、パワーポイントを使って、具体的に分かりやすく講義をしていただいた。数多くの資料を用意していただき、道徳教育において重要なポイントをご指導いただいた。

○演習

演習では、「粹な行動」という資料を使って、実際にどのように授業をしたら良いのかということを見せていただき、他校の先生と話し合う活動を行った。授業の中で、取り入れたい発問や活動を数多く紹介していただいた。他校の先生方と話し合うことで、新しい考えに気付くこともできて、充実した研修会であった。

(2) 第2回部会

① 期日：12月4日（水） 燕北小学校

② 内容：授業研究・協議会

主題名 誠実な心「手品師」

(「かがやけみらい 道徳5年」学校図書) 授業者 燕北小学校5学年担任 小山 妙子 教諭



○授業の概要と協議

本授業は、「自己の良心を見定め、誠実に明るい心で生活する」をねらいとし、資料を2分割して児童に提示した。前半の葛藤する主人公の手品師に自分を重ね合わせながら考える場面と、後半の主人公の心の内をとらえる場面で中心発問がなされた。協議会では、葛藤場面の追い込みの弱さと児童が自己の心を見つめる時間の確保等が話題になった。また、板書の在り方や範読の有効性についても話し合われた。

4 成果と課題

道徳の授業は、「オープンエンド・クローズエンド」の授業をうまく組み合わせ、他教科とのつながりを考え位置づけていく。さらに、1時間の中には「3つのポイント」(①道徳的価値を押さえる・②葛藤部分がある・③実践へつなぐ)を織り込むことが重要である。

